

ほくろ取り・イボ取りの説明書

この用紙では上記の施術について説明します。不明な点は医師、またはスタッフに確認してください。お伝えする内容、記載された内容は一般的なもので個人差があります。

▶安全に施術を受けていただくために



既往歴、現病歴、手術歴、使用中・服用中のお薬について、妊娠・出産・授乳について、アレルギー・その他お体で心配なことについて事前に申告してください。
申告がない場合、当院では一切の責任を負いかねます。また、施術部位の近くに異物が入っている方は、合併症が起こりやすく、施術をお勧めしません。何らかの合併症が起きた場合にも、当院では責任を負いかねます。



【当てはまる項目はありますか？】 ※該当があれば申告してください。

禁忌 <該当する方はお受けいただけません>

☐妊娠中・産後3ヶ月以内(3ヶ月以内の中絶・流産含む) ☐がん(悪性腫瘍の未治療～治療中)

☐ペースメーカー/ICD ☐感染症 ☐ヘルペス(部位:)

☐知覚障害(部位:) ☐1ヶ月以内の日焼け

☐プロテーゼ・アクアミド・ハイドロキシアパタイトなどの注入物(部位:)

☐タトゥー/アートメイク(部位:)

※Skin52(色素改善)の場合、施術範囲及びその周囲についてレーザー治療を受けられなくなる可能性があります

要注意 <該当する方はお受けいただけない場合があります>

授乳中 ☐心疾患 ☐自己免疫疾患 ☐膠原病 ☐糖尿病 ☐てんかん ☐アトピー ☐ケロイド体質 ☐光過敏症

☐炎症性ニキビ ☐金属挿入部/金の糸() ☐施術部位の手術2ヶ月以内 ☐肝斑

☐施術部位の1ヶ月以内のレーザー照射 ☐施術部位の2週間以内の注射

☐現病歴() ☐既往歴()

☐内服・外用薬() ☐薬物アレルギー()

☐レチノール配合化粧品 ☐ハイドロキノン配合化粧品

☐3日以内のワクチン接種

▶▶ほくろ取り・イボ取りとは？

【電気メス治療】

盛り上がったほくろ・いぼに対し、高周波を利用した電気メスにより削り取るようにして除去していく治療です。

表面上の色素のある部分のみを止血しながら削るため、出血も少なく、施術後の縫合や抜糸の必要もありません。

【切開手術】

大きさや深さによっては手術をお勧めしております。

消毒→局所麻酔→切開→縫合といった流れでほくろを除去します。

縫合後5～7日で抜糸のために再度ご来院が必要となります。

※一度で取り切れない場合があり、状態によっては数回の処置が必要な場合がございます。

▶▶施術当日の注意点

- ・来院時間に遅れた場合は、施術部位の制限、施術の実施をお断りすることがあります。
- ・酒気を帯びている場合施術をお断りすることがあります。
- ・持参した薬剤(麻酔など)は使用できません。
- ・傷痕は避けて施術することがあります。(色素沈着や凹凸があるため)
- ・甲状腺直上は施術できません。
- ・施術中に担当医、看護師以外のスタッフが入室することがあります。
- ・処置後に炎症を抑えるためにお薬を塗ります
- ・メイクを落としていただく可能性があります。

▶▶予約について

- 施術について、事前にLINE、電話、メールまたはクリニックにて予約をお取りください。
- 医療行為を行っているため、予約時間どおりにご案内できないことがあります。
- 予約時間に遅れた場合、施術を行えないことがありますので、お時間に余裕をもってお越しください。
- 使用機器の故障や不具合により、やむを得ず予約の変更をお願いすることがあります。

● 予約変更・キャンセルについて

- 予約の変更・キャンセルのご連絡は、LINE、メールまたはクリニックへお電話ください。
- 予約の変更・キャンセルは予約日の前日の18時までにご連絡ください。

▶▶施術後の一般的な経過

個人差はございますが、発赤、熱感、痒み、痛み、乾燥、かさぶた、表皮剥離、くぼみ、色素沈着、色素脱失、内出血が生じることがあります。

▶▶こんな症状が起きることがあります

※施術後に以下の症状もしくは施術に起因すると考えられる症状がみられ、

医師が治療を必要と判断した場合、治療の必要性を説明、同意のうえ適切な治療を行います。

熱傷・び瘡の悪化・コメド・毛嚢炎・埋没毛・膿疱・しみの部分が一時的に濃くなる・膨隆・擦過傷・表皮剥離・水疱形成・点状出血・腫脹・肝斑の悪化・潜在性肝斑の惹起・灼熱感・瘢痕・ヒゲや産毛の脱色・脱毛

施術後、何か気になることやご心配なことがありましたら、当院へご連絡ください。当院での施術部位について、他院でご相談や施術を受けた場合、当該部位について当院で対応することが出来なくなることがあります。

▶▶アフターケア（医師の指示により変更する場合があります）

【電気メス】

● 施術後当日

- レーザー後の炎症を抑える為に患部へ保護剤を貼り、その上から軟膏を塗ります。（※医師の指示にて変更する場合があります。）
- 茶テープの上から1日2回軟膏を塗布してください。
- 茶テープは自然に剥がれるまで剥がさないようにしてください。剥がれてしまった場合はお渡しした茶テープを貼ってください。

● 術後7～10日

- 10日経ちましたらゆっくりとテープを剥がしてください。剥がす際は濡れている状態（洗顔後など）だと剥がしやすいです。
- かさぶたができることがあります。7日～10日程度で自然に剥がれますので、無理に剥がさない様にお気を付けください。

● 術後～3ヶ月

- 日焼けをすると色素沈着・色素脱失の原因となります。

施術後3ヶ月はUVケア（テープを貼る・日焼け止めクリーム・直射日光にあたらない）を必ず行ってください。

- 施術部位はこすったり刺激しないように注意して下さい。色素沈着の原因となります。
- 赤みが引くまでは血行がよくなる事（サウナや激しいスポーツ、大量の飲酒等）はお控え下さい。

【切開】

● 施術後当日

- 創部にシャワーが当たらないよう気を付けてください。絆創膏を剥がした後に優しく拭いてください。
- イソジン（ポビディン）10%→生理食塩水0.9%の順番で綿棒で消毒してください。
- その後、お渡しした軟膏を綿棒で塗り、絆創膏で保護してください。
- 上記を1日1回、抜糸まで行ってください。

● 術後7日前後

- 抜糸に来ていただきます。
- その後3日間ほど、術後にお渡しした軟膏を塗ってください。（消毒や絆創膏は必要ありません。）

● 術後～3ヶ月

- 日焼けをすると色素沈着・色素脱失の原因となります。
- 施術後3ヶ月はUVケア（テープを貼る・日焼け止めクリーム・直射日光にあたらない）を必ず使用してください。
- 施術部位はこすったり刺激しないように注意して下さい。色素沈着の原因となります。
- 赤みが引くまでは血行がよくなる事（サウナや激しいスポーツ、大量の飲酒等）はお控え下さい。

炎症止めの軟膏:細菌の増殖を阻害し、局所の感染症をなおします。

電気メス:1日2回塗布

切開:1日1回塗布

【外用薬】

- 【内服薬】

- 抗生剤セフトキシム: cefuroxim(500mg)14錠 朝・夕食後 1回1錠 7日分
- ビタミンC: VitaminC (0.5g) 10包 朝食後 1回1包 10日分

洗顔・メイク落とし化粧水・乳液	当日から可(テープの上から) 切開: 抜糸まで不可	メイク	当日から可(テープの上から) 切開: 抜糸まで不可
シャワー	当日から可(テープの上から) 切開: 濡れないように	入浴	当日から可(テープの上から) 切開: 抜糸まで不可
施術部位のマッサージ	施術箇所: 3ヶ月後から可 施術箇所以外: 直後から可	通院間隔	3~6ヶ月
レチノイン酸反応期 (施術箇所)	3~6ヶ月後から可	レチノイン酸安定期 (施術箇所)	3~6ヶ月後から可